

『ぼくは恐竜探検家』

小林快次／著 講談社 2018

この本の著者、小林快次は「恐竜学者」です。恐竜学とは、
いったいどんな研究をするのか、まだ発見されていない恐竜
を発見するまでに、どのようなことが行われているのかなど、
分かりやすく詳しく書かれています。すべての恐竜ファンに
贈る1冊です。



『みんなが知りたい! 「地球のしくみ」と「環境問題」地球で起きていることがわかる本』

北原義昭／監修 菅澤紀生／監修 メイツ出版 2018

地球は、これまでの人間の文明の進歩からの影響を受け、様々な
環境の変化が起きました。温暖化現象や、砂漠が増えている
ことなど、今、地球に起きていることが分かる本です。



『みんなちがって、それでいい パラ陸上から私が教わったこと』

宮崎恵理／著 重本沙絵／監修 ポプラ社 2018

陸上競技の沙絵選手は、生まれつき、右腕のひじから先があり
ません。「手は生えてこないんだ。」と理解してから、沙絵
選手はしっかりと前を向き、努力を重ねて、日本を代表する
選手になっていきました。



『ナチスに挑戦した少年たち』

フィリップ・フーズ／作 金原瑞人／訳 小学館 2018

ナチスが戦争によって強い力をもっていた時代に、自分たちの
力で、ドイツの兵隊たちに抵抗していた少年たちがいました。
武器をもたない少年たちの必死の抵抗が、大人たちをも勇気づ
けてくれていたという、本当にあったお話です。



『星を見あげたふたりの夏』

シンシア・ロード／著 吉井知代子／訳 丹地陽子／絵
あかね書房 2018

犬のラッキーの首輪がはずれてしまい、リリーが追いかけてい
くと、そこにいたのは、農園に出稼ぎに来ている家の女の子、
サルマでした。二人はやがて友だちになり、前向きなサルマに
触発され、リリーはこの夏、新たな挑戦をします。



ながい夏休み!

「あまり本をよまないなあ。」

そんなひとは、読書感想文の本のほかに

もう1冊本をよんでみる いいきかい。

「本 だいすき。」 そんなひとは、

1冊でも多く本をよむ いいきかい。

みなさん、夏休みにあと “もう1冊” 本をよんでみませんか。

すてきな本に であえたことは、

きっと 夏休みの いい思い出に なるかもしれません。

このブックリストでは、夏にぴったりの **おすすめの本**を
しょうかいしています。



2019

このブックリストは、出版社の許可を得て、表紙を掲載しております。 2019年7月

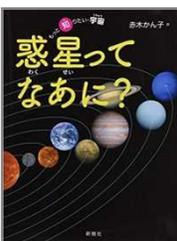
発行：宮崎県立図書館こどもしつ 電話(0985)29-2596



『しゅくだいクロール』

福田岩緒／作・絵 PHP研究所 2018

ぼくは、プールでおぼれてから水泳がこわくなりました。ひっこしが決まり友達に伝え、水泳大会のリレーのせんしゅにえらばれてしまい、それからぼくのクロールへのちょうせんがはじまりました。



『惑星ってなあに?』

赤木かん子／作 新樹社 2018

「惑星とはなにか」をわかりやすくいせつしてくれる科学の本です。冥王星はなぜ惑星でなくなったのかなど、太陽系にある惑星について、新しいぼうえんきょうでわかったことなどをともに教えてくれます。



『ノラネコぐんだんと海の果ての怪物』

工藤ノリコ／著 白泉社 2018

この本を読んだら、絵本で知っている人もそうでない人も、きっとノラネコぐんだんのみりよくにはまるはず。初めて長い物語にちょうせんする人にもおすすめ。さあ、ノラネコぐんだんといっしょに、ぼうけんの旅へ、しゅっぱ〜つ!



『生きものをつなげる石ころ探検 ゲッチョ先生の石ころコレクション』

盛口満／文・絵 少年写真新聞社 2018

みなさんは、石ころをじっくり見たことがありますか? 同じようにみえる石でも、実は、色も形もかたさも、それぞれちがうのです。ふだんとちよつとちがったまなざしで、石ころを見てみませんか。



『凸凹あいうえおの手紙』

別司芳子／著 ながおかえつこ／絵 くもん出版 2018

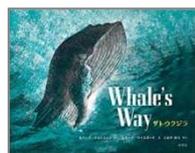
大地の学校では、地いきのおじいさんおばあさんを毎月しょうたいする交流会を行っています。ひとりだけしょうたい状の返事が来ない佐山さんは、目が不自由で字が読めなかったことに、大地は気づきます。



『サナギのひみつ』

三輪一雄／著 大谷剛／監修 ポプラ社 2018

成虫と幼虫の間の状態を「サナギ」といいます。昆虫はなぜサナギになるのか、サナギの中はどうなっているのか、サナギのなぞをとき明かした科学読みものです。



『ザトウクジラ』

ヨハンナ・ジョンストン／さく レナード・ワイスガード／え、こみやゆう／やく 好学社 2018

哺乳類でありながら、姿を見ることはむずかしい、ザトウクジラのお話です。クジラは、その大きさから海の王者のイメージがありますが、子育てをして、様々な脅威から子どもたちを守り、たくましく生きています。



『もののしくみ大図鑑 サイエンスプラス なぜうごく? どうちがう?』

ジョエル・ルポーム／著 クレマン・ルポーム／著 村上雅人／監修 村井文美 [ほか] / 訳 世界文化社 2018

身のまわりの道具や知っているものには「なぜうごく?」「なぜちがう?」など、疑問がいっぱい。身近なものからドローンなどの最新テクノロジーまで250のもののしくみを、内部構造が一目でわかる簡潔なイラストで教えてくれます。



『バイオロギングで新発見! 動物たちの謎を追え』

中野富美子／構成・文 佐藤克文／監修 あかね書房 2018

バイオロギングとは、小さなカメラや記録計を体につけて、野生の動物が見た世界やその行動を記録する研究方法です。マッコウクジラが深海で狩りをする姿など、これまでは知ることのできなかった動物たちの様子が紹介されています。



『ミコとまぼろしの女王 新説・邪馬台国 in 屋久島! ?』

遠崎史朗／作 松本大洋／絵 ポプラ社 2018

古代史が大好きなミコは、夏休みに屋久島の調査にきました。そこにクラスの美羽が家族旅行で来ていて、ミコと美羽と美羽の弟は、地元の男の子とともに「邪馬台国」の証拠探しに出かけることになりました。謎がいっぱいの探検物語です。